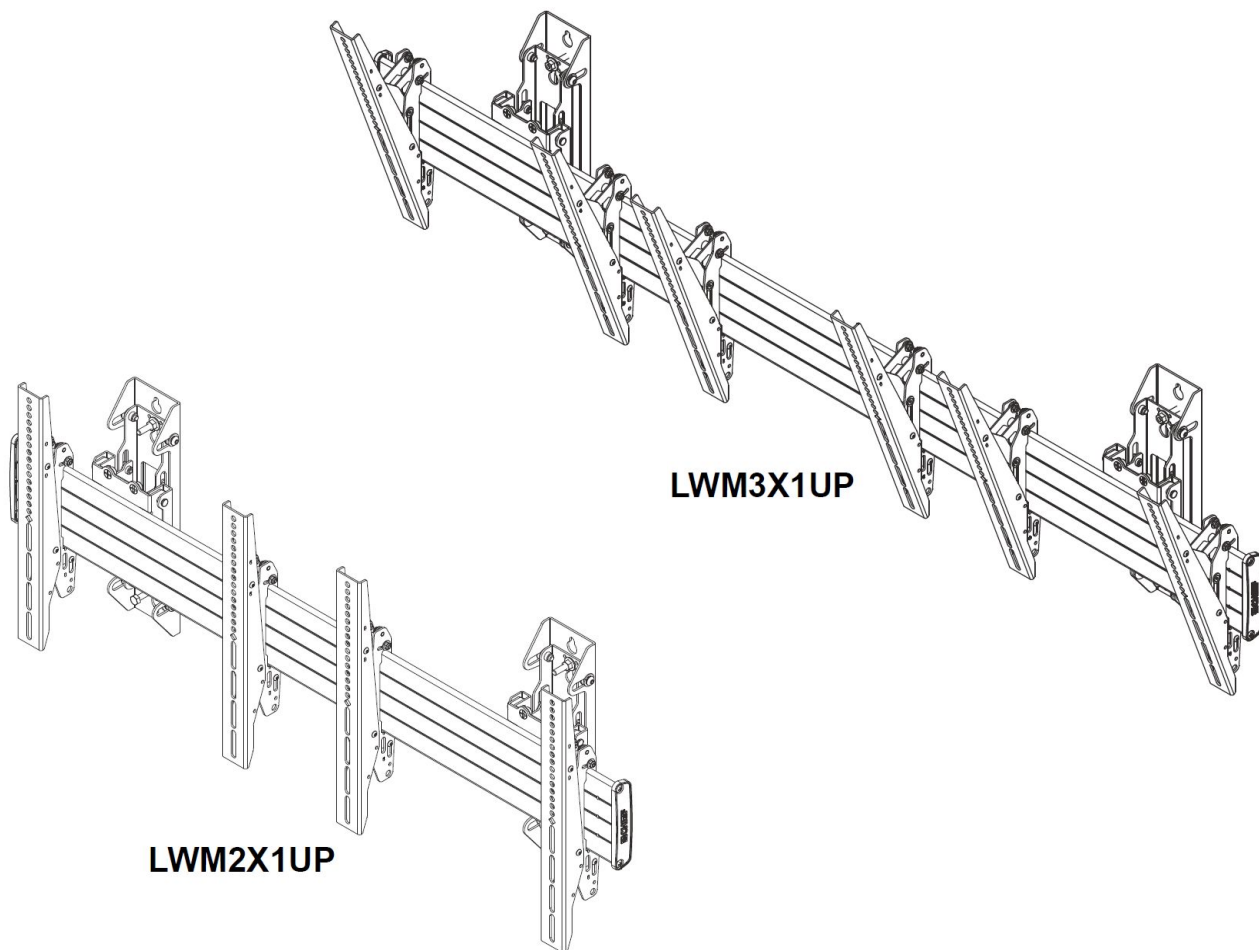


取扱説明書



壁掛メニューボードマウント縦設置型

型番：LWM2X1UP/LWM3X1UP



このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

とくに「安全上のご注意」は必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに必ず保管してください。

必ずお守りください。

設置には特別な技術が必要ですので、必ず専門の取付工事業者へご依頼ください。

お客様による工事は一切行わないでください。

販売店様、工事店様へ

- お客様の安全のため、取付場所の強度には機器本体含むディスプレイおよび金具類の合計重量の少なくとも5倍に耐えるよう十分注意のうえ、設計施工を行ってください。
- 作業は必ず2名以上で行ってください。
- 取扱説明書で指定しているネジや固定具は全数を確実に取り付けてください。
- 壁面の構造や材質によっては補強さんや補強板をいれるなどして適切な施工方法を採用してください。

安全上のご注意

 **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡したり重大な事故を負う可能性が想定される内容を示しています

 **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容あるいは物的損害の発生可能性がある内容を示しています

 **警告**：部品を改造しないでください。また破損した部品は使用しないでください。落下などの事故やけがの原因となります。

 **警告**：取り付けしているネジがゆるんでいたり、抜けていたりすると、金具やディスプレイの落下につながり、非常に危険です。

 **警告**：作業中金具の突起部分（ピンチポイント）に注意してください。指をはさまないようにご注意ください。

 **警告**：ディスプレイの取付作業を行うとき以外、ロック機構で確実にディスプレイを固定できているかご確認ください。また

 ケーブルの取付作業を行うときは、じゅうぶんにご注意ください。

注意：運送による破損の可能性があるため、取付作業を行う前、確実に商品をチェックしてください。

**設 置 の 前 に****■設置場所について**

- 本製品とディスプレイを設置する構造物は、総合重量に長期間十分に耐え、地震や予想される振動、外力にも十分耐えうる施工を行なってください。
- 設置の前に、ディスプレイと本製品を含めた取り付けユニットの総重量を確認のうえ、設置する壁面の強度を確認してください。強度不足の場合は十分な補強を行なってください。
- 荷重は必ず柱や梁などの堅牢な構造材で受けるように取り付けてください。
- 強度が不十分な構造物への取付けは行なわないでください。
幅木や受け木に直接固定しないでください。
- 開閉するドアや家具の扉にぶつかる場所には設置しないでください。また振動の多い場所や、大きな力が加わる場所には設置しないでください。落下や破損、ケガの原因となります。
- コンクリートの壁面に取付ける場合は、総重量に十分耐えるコンクリートアンカー類を使用してください。

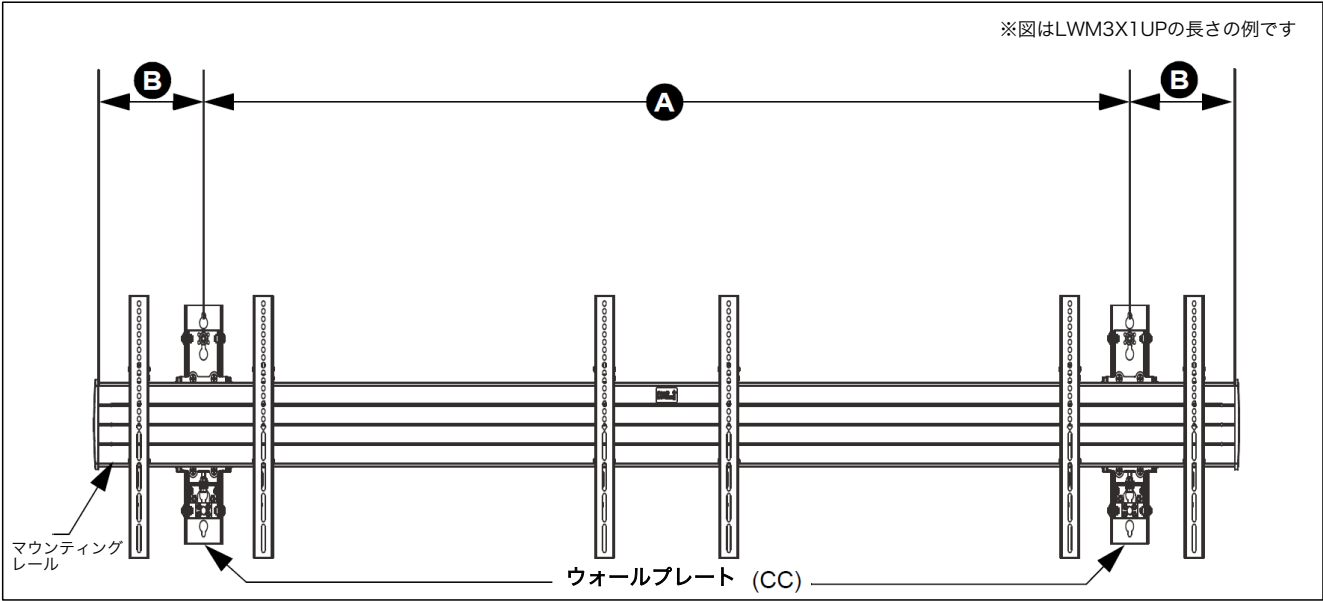
誤った取り付けや強度が不十分な取り付けを行なった場合、機器が落下して重大な事故やけがの原因となりますので、十分ご注意ください。

■設置方法

1. 設置する壁面に対応したアンカー類やネジ等は、十分な強度を持ったものをご用意ください。
2. 本取扱説明書の安全上の注意についてよくお読みのうえ、ディスプレイと取付金具の適切な設置場所を決めてください。
3. 必要に応じて壁面に適切な下穴処理やアンカー固定を行なってください。
4. 設置する構造物の強度やネジの保持強度が十分確保できるか確認してください。
5. 本製品を壁面構造物にしっかりと取り付けてください。

設置の前に（続き）

■壁面設置条件



【図-1】

品番	A 両端のウォールプレート適正距離	B マウンティングレール先端から両端のウォールプレートまでの適正距離
LWM2X1UP	76.2～101.6cm (30 - 40インチ)	0～ 20.3cm(8インチ)以上にしない
LWM3X1UP	101.6～152.4cm (40 - 60インチ)	0～ 35.6cm(14インチ)以上にしない

【表-1】

重要！：ウォールプレートの取付位置とインターフェースブラケットの取付位置は、必ず離してください。
ウォールプレートの直接前にインターフェースブラケットを設置しないこと。

■最大耐荷重量表

	ディスプレイ1台毎の 耐荷重量	メニューボード 全体での ディスプレイ耐荷重量
LWM2X1UP	56.7kg (125lbs)	113.4kg (250lbs)
LWM3X1UP	56.7kg (125lbs)	170.1kg (375lbs)

■各モデル耐荷最大重量 (kg)

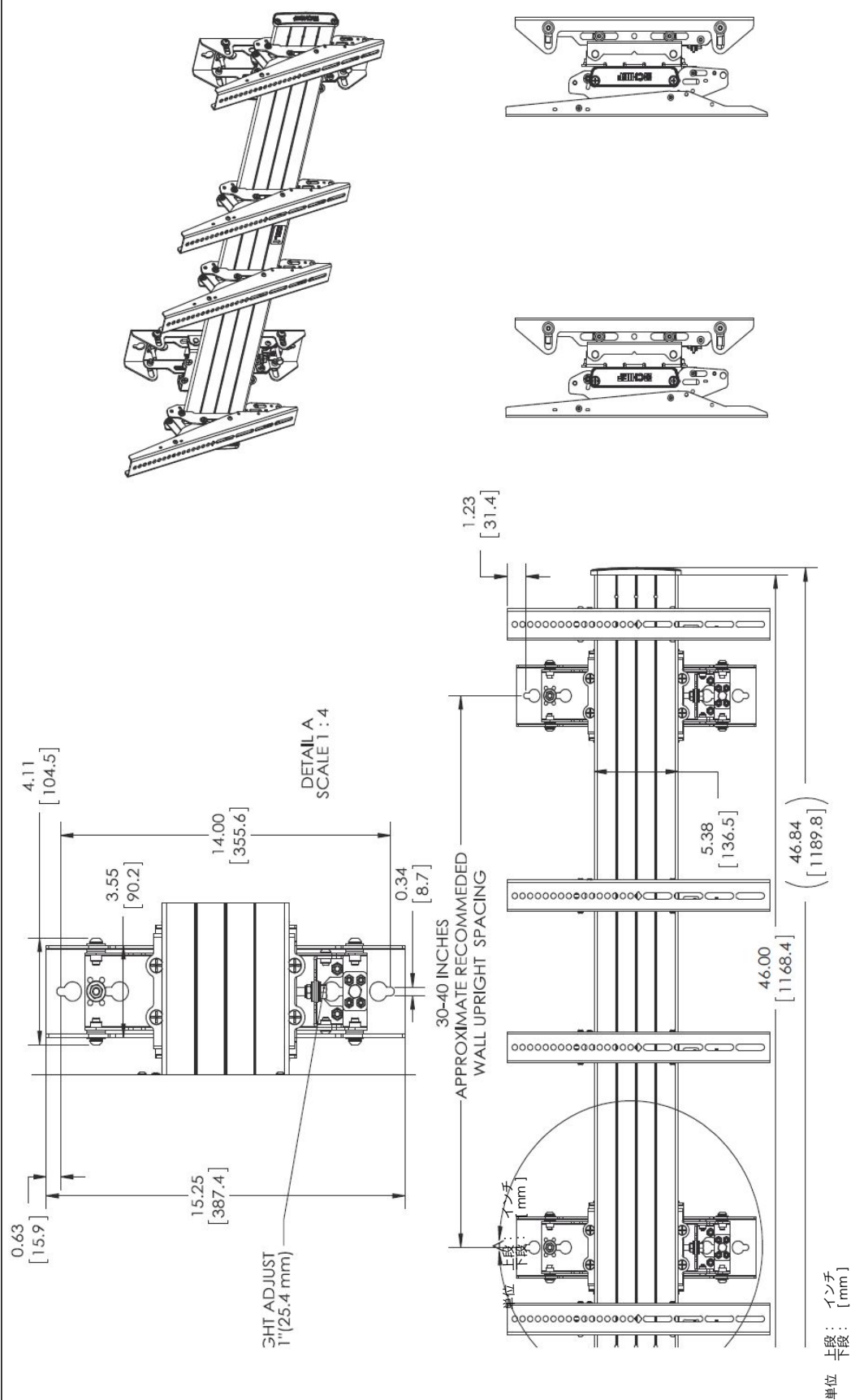
LWM2X1UP		LWM3X1UP		
56.7kg	56.7kg	56.7kg	56.7kg	56.7kg

警告 上記耐荷重量を超えた重量を取付けることはできません。



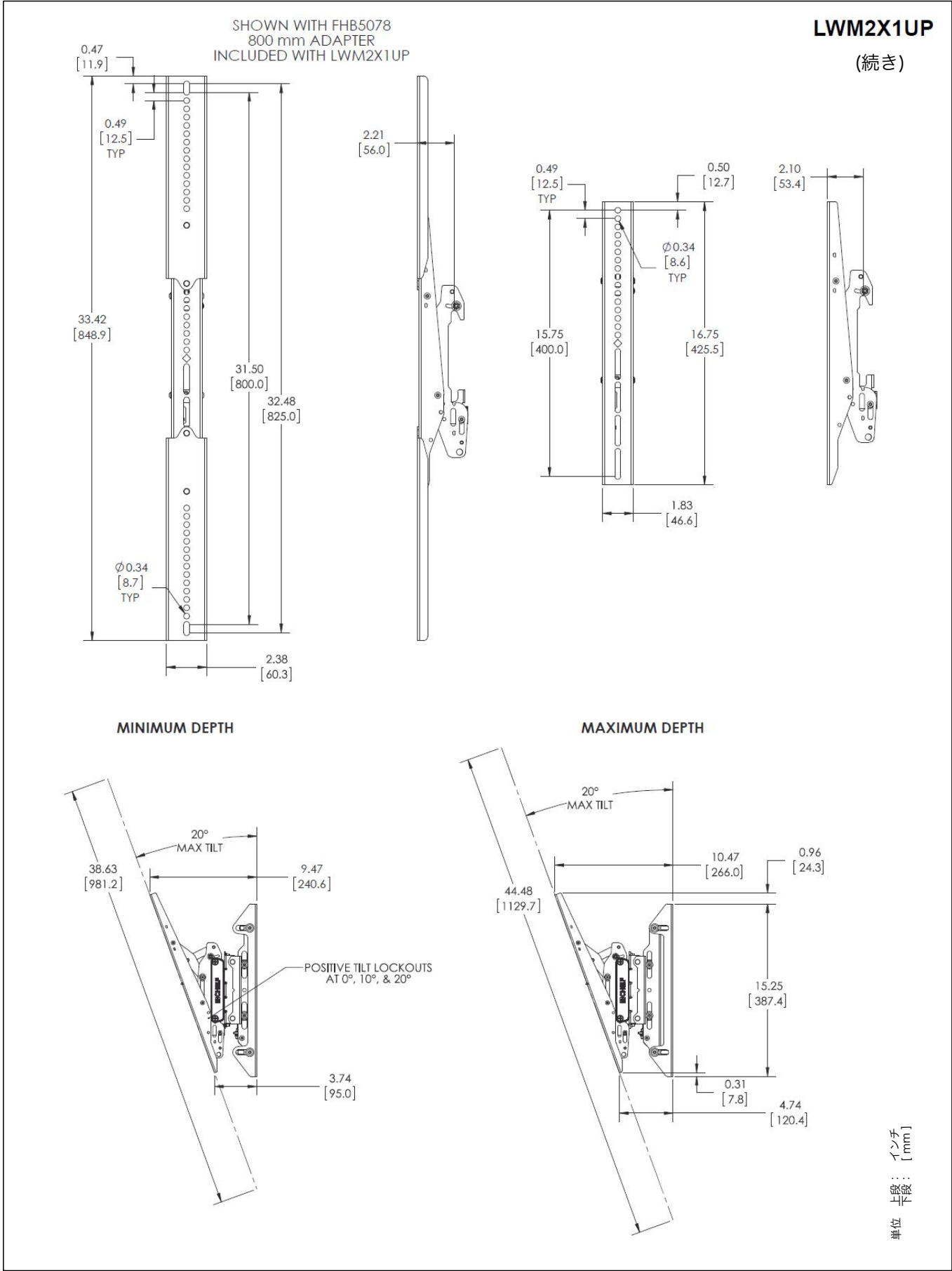
■各寸法図

LWM2X1UP

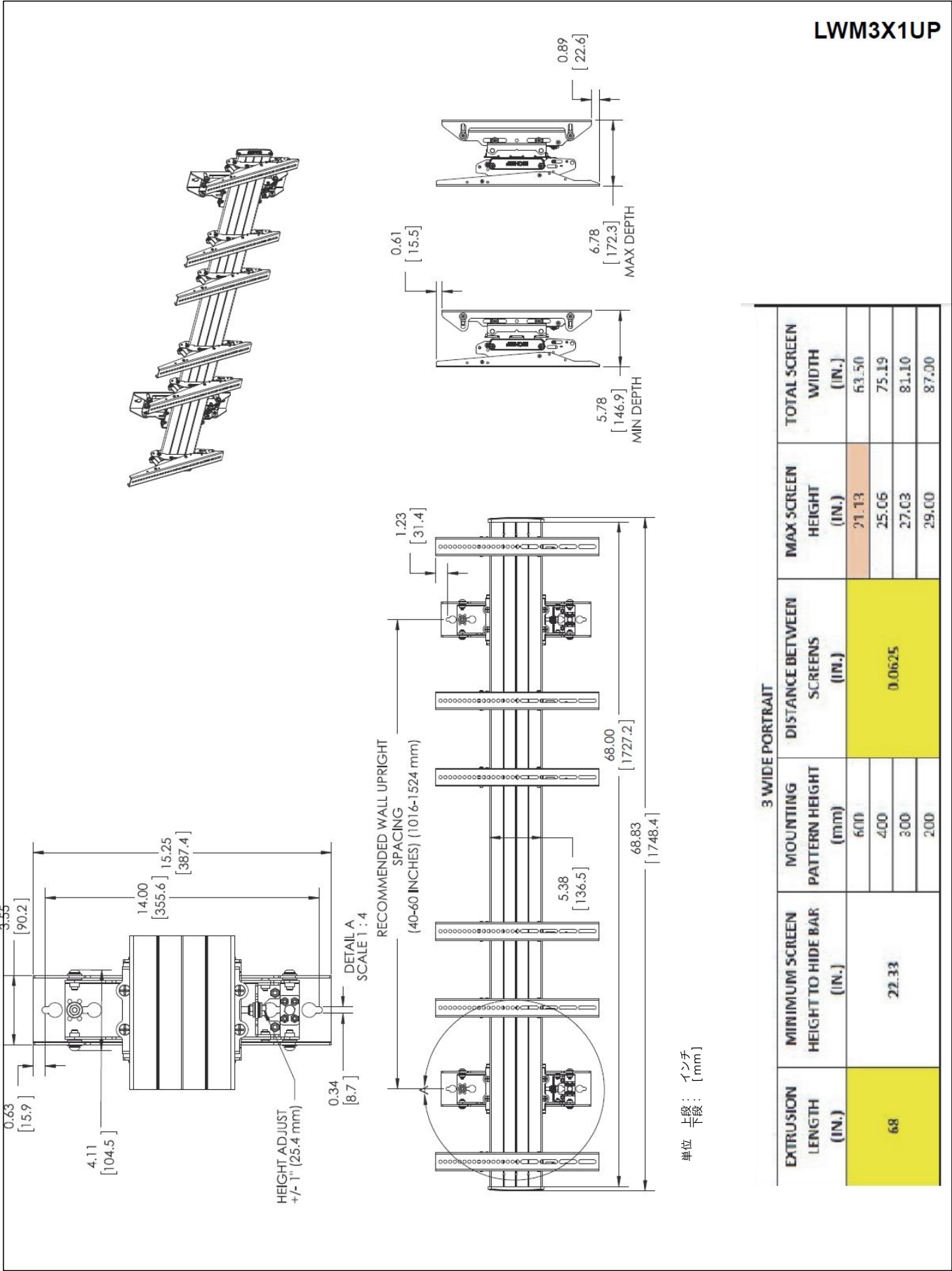


MAX SCREEN HEIGHT FOR VARIOUS EXTRUSION LENGTHS					
2 WIDE PORTRAIT					
EXTRUSION LENGTH (IN.)	MINIMUM SCREEN HEIGHT TO HIDE BAR (IN.)	MOUNTING PATTERN HEIGHT (mm)	DISTANCE BTWN/TTN SCREENS (IN.)	MAX SCREEN HEIGHT (IN.)	TOTAL SCREEN WIDTH (IN.)
46	22.5	600	0.0625	20.25	40.63
		420		28.13	56.25
		300		32.06	64.13
		200		36.00	72.00

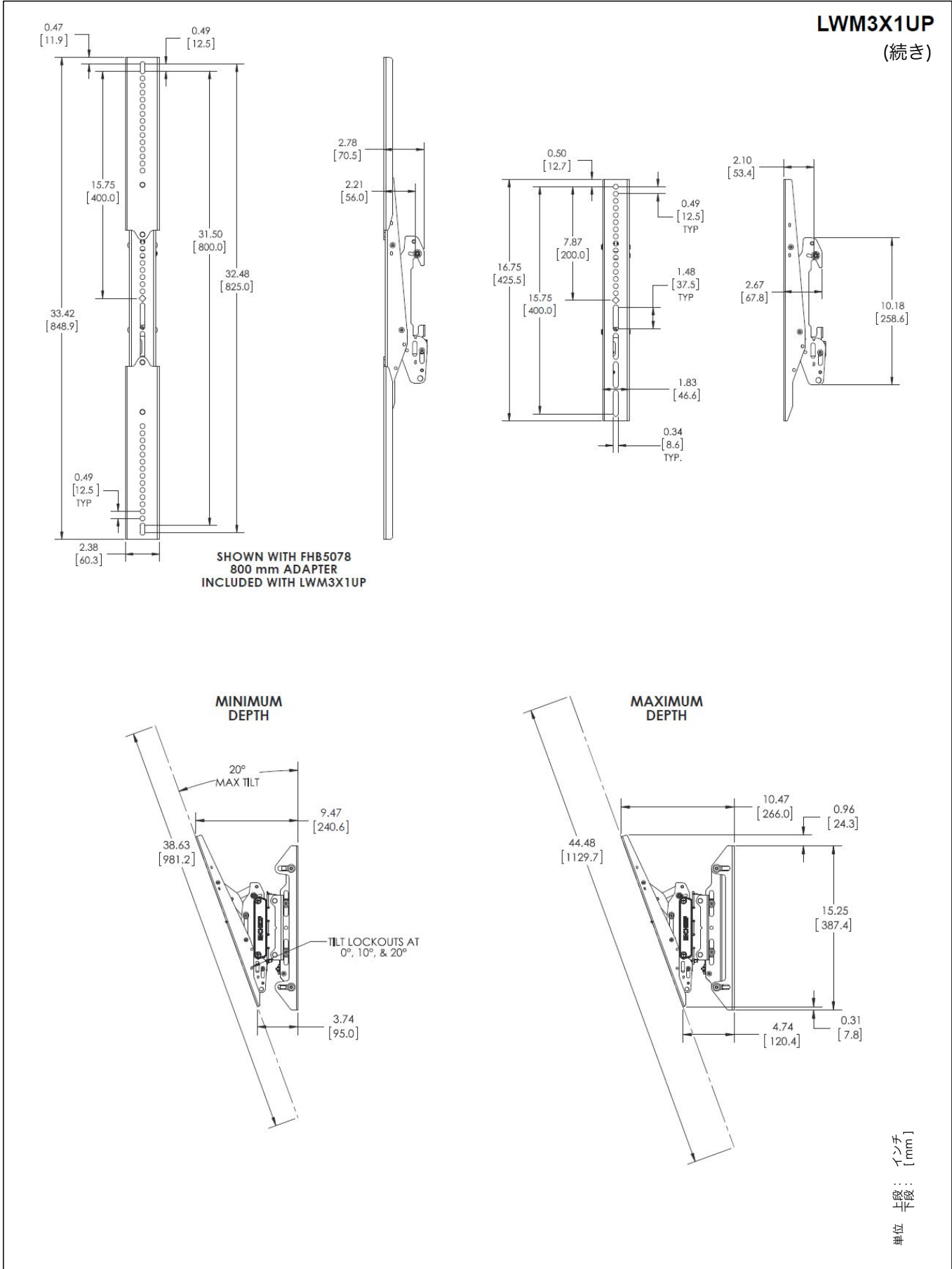
■各寸法図（続き）



■各寸法図（続き）

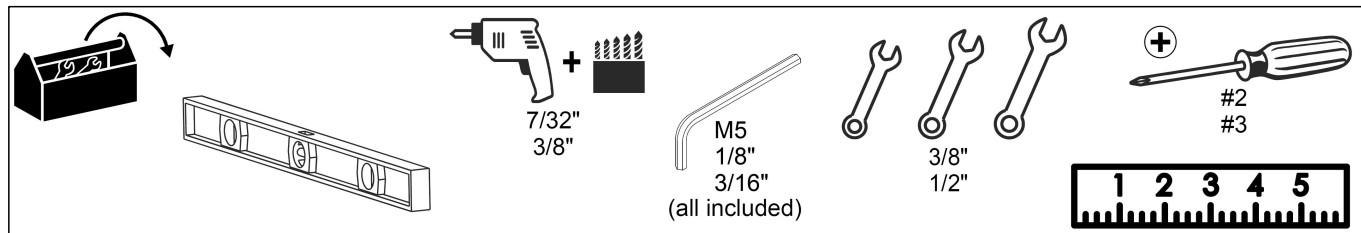


■各寸法図（続き）

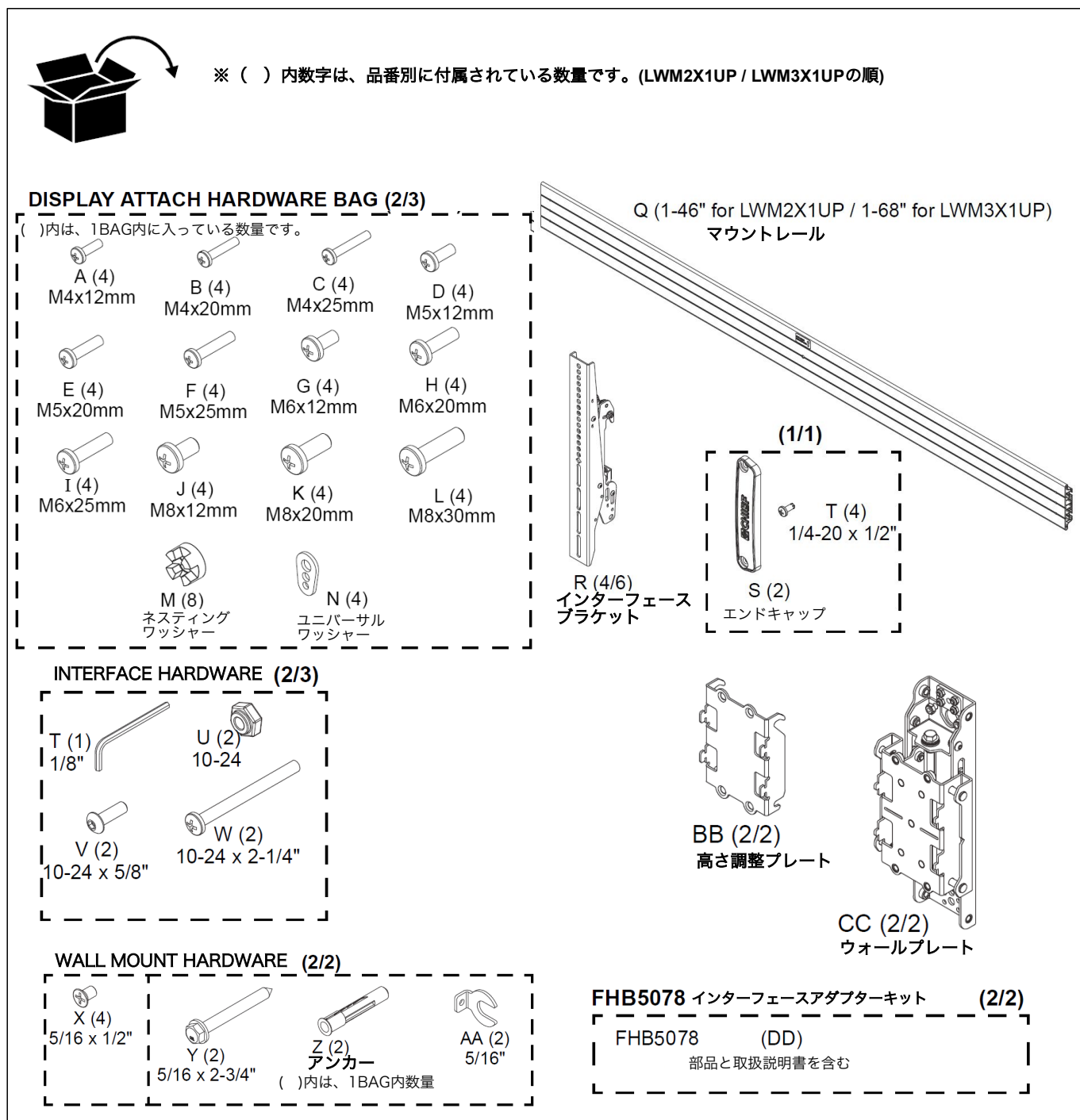


組立手順

■本体の組立に最低限準備いただく工具



■本製品の封入物



組立と設置

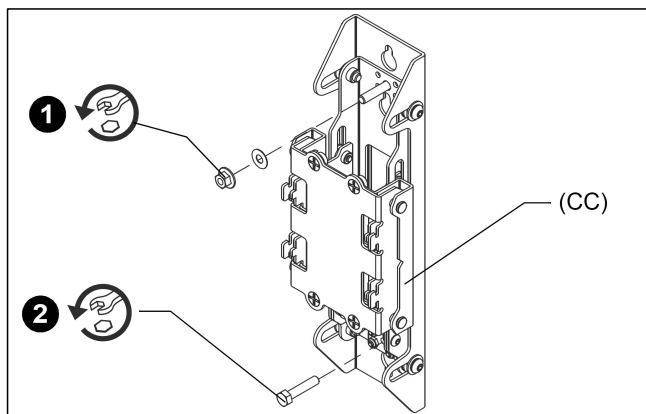
重要！：下記組立と設置に入る前に必ず各モデルの寸法図を確認してください。

メモ：工場出荷時のウォールプレート(CC)の高さ調整ネジは、プレートの下部に位置していますが、高さ調整を上部から行なうように設置するためには、下記のウォールプレートの調整を行ない、調整ボルト部を上部位置に変更してください。
高さ調整を下部からする場合、そのまま次ページのウォールプレートの取付に進んでください。

■ウォールプレートの調整

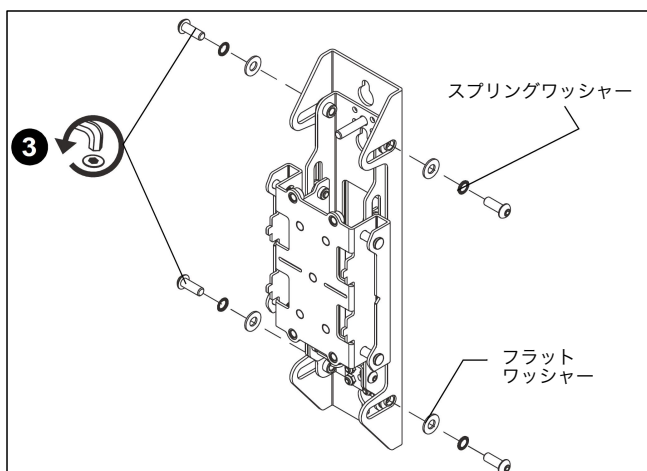
ウォールプレートの高さ調整を上部から行なうように設置するためには、下記のウォールプレートの調整を行ないます。

重要！：一度取付けてあるネジなどを取り外す作業がありますが、取り外したネジ等は必ず無くさないよう保管してください。



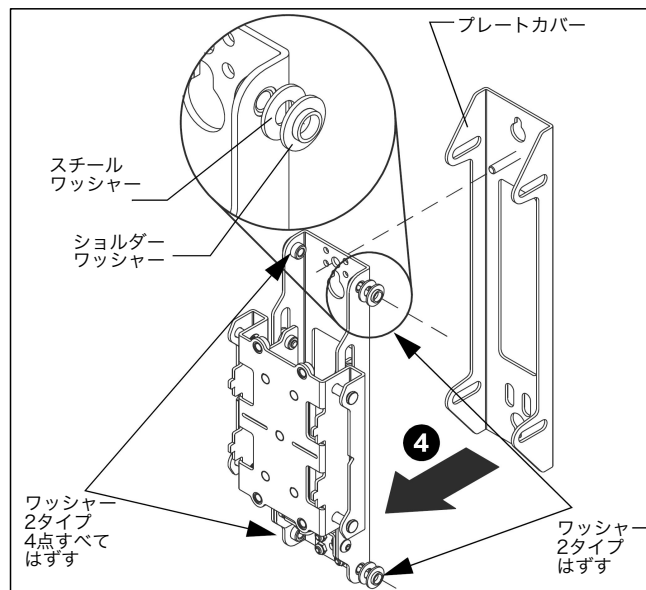
【図-2】

1. 【図-2】のようにウォールプレート(CC)上側突起部に取付けてあるフランジナットとワッシャーを外します。
2. 次に下部に取付けてある六角ネジも外します。



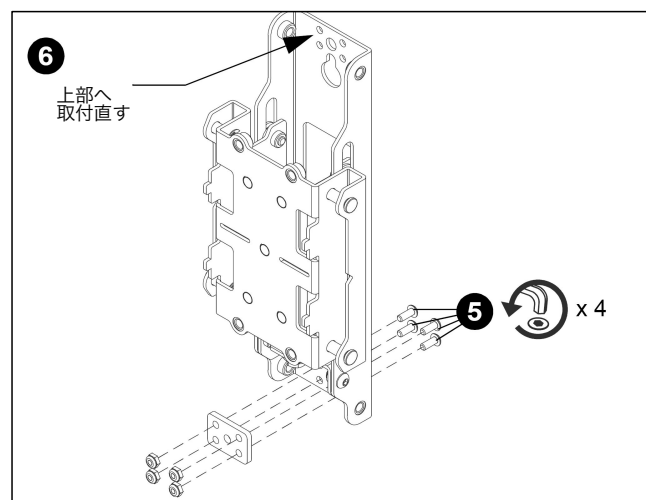
【図-3】

3. さらにプレートに既に取り付られているネジ、スプリングワッシャー、フラットワッシャーもすべて外します。
【図-3】



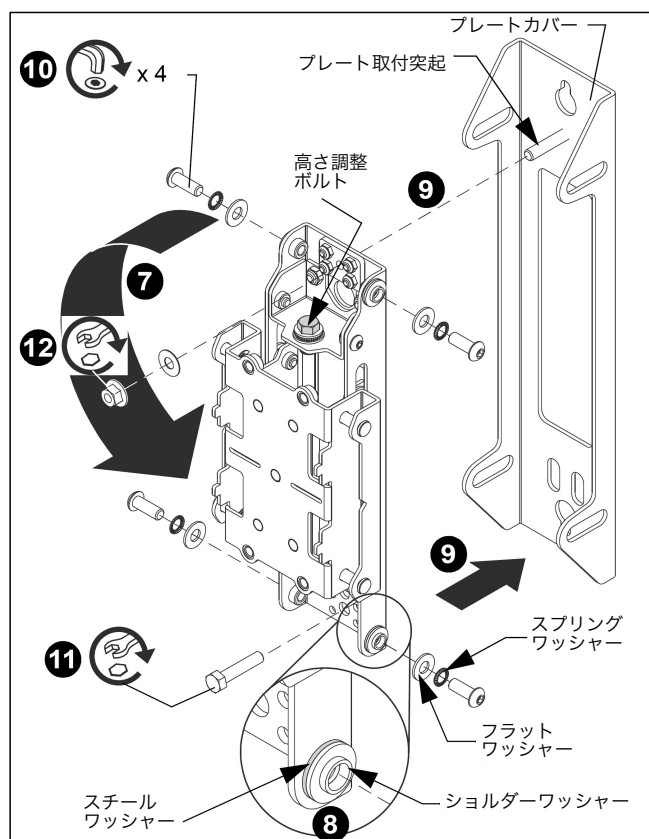
【図-4】

4. ウォールプレートからプレートカバーを外し、4点装着していたスプリングワッシャーおよびショルダーワッシャーもはずします。【図-4】



【図-5】

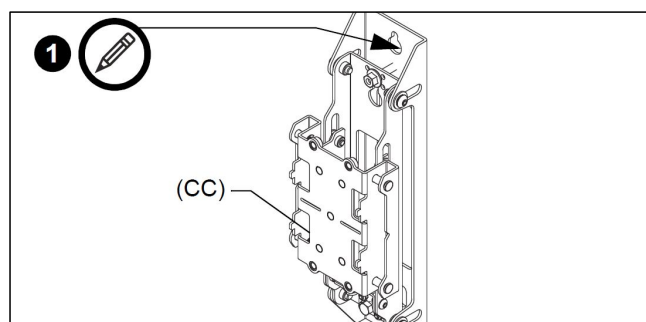
5. ウォールプレート(CC)下部からネジとナット4個ずつ、さらにスモールメタルプレートを【図-4】のように取り外します。
6. ウォールプレート上部にステップ5で外したスモールメタルプレートを4つのネジとナットで留めます。



【図-6】

7. ウォールプレート(CC)を逆さにし、高さ調整ネジが上部になるようにします。
8. ステップ4. で外したスチールワッシャーとショルダーワッシャーを4箇所へ再度取付けます。
9. プレートカバーの取付突起部をウォールプレートの穴に引っ掛けるようにして取付けます。
10. カバーの外側から外したフラットワッシャー、スプリングワッシャーとネジで留め直します。
11. 六角ネジで下部を留めます。
12. 差し込んだプレート取付突起の先にステップ1で外したフランジナットとワッシャーを取付けます。

■壁面にウォールプレートを取り付ける

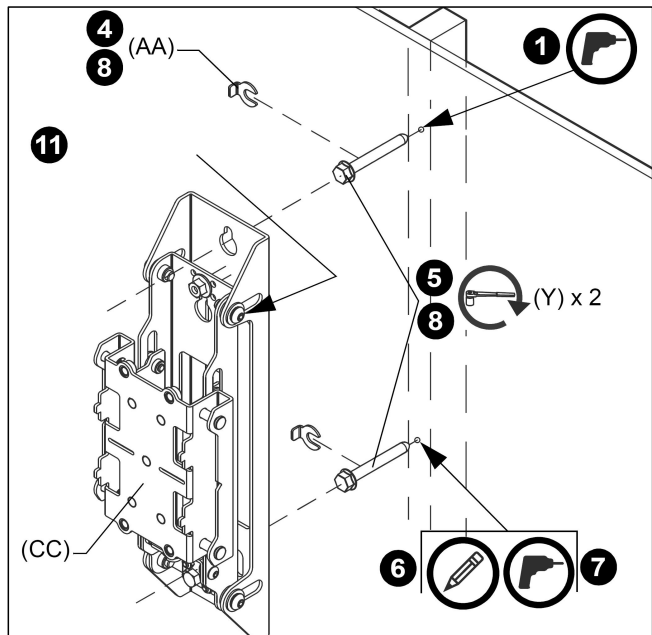


【図-7】

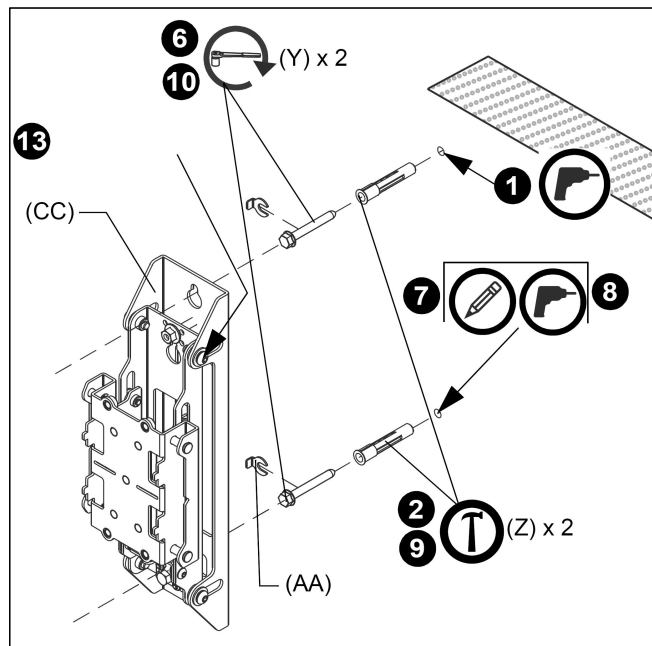
重要！：3ページ■壁面設置条件 をご確認のうえ次のステップに進んでください。

メモ：施工業者の責任において、本製品と取り付ける全ての製品の重量の5倍に耐えられるように壁材の補強をしてください。
最大荷重量は、3ページの重量表をご確認下さい。

1. まず取付穴の位置を確認し、壁側にも印をつけておきます。【図-7】
- ・次ページ 壁面の材質による取付例を参考に、ウォールプレートを壁面に取り付けます。



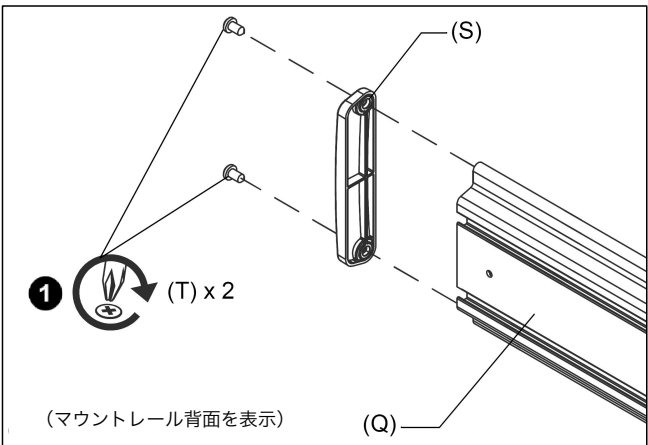
【図-8-a】 木枠/石膏ボード壁面取付例



【図-8-b】 コンクリート壁面取付例

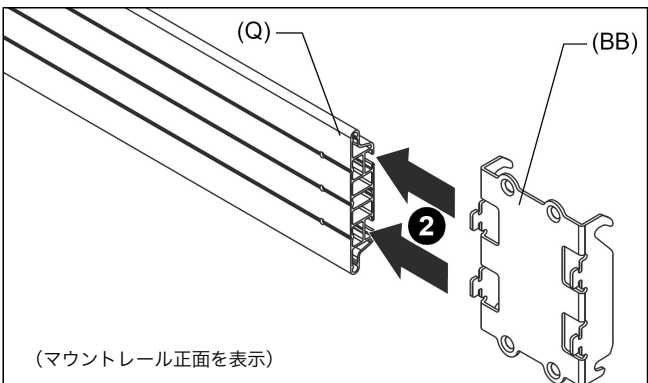
※ 壁面取付用ネジおよびアンカーは付属しているタイプもありますが、壁材によっては市販の適切なものを選定の上、ウォールプレートを壁面にしっかり固定してください。

■壁面にウォールプレートを取り付ける



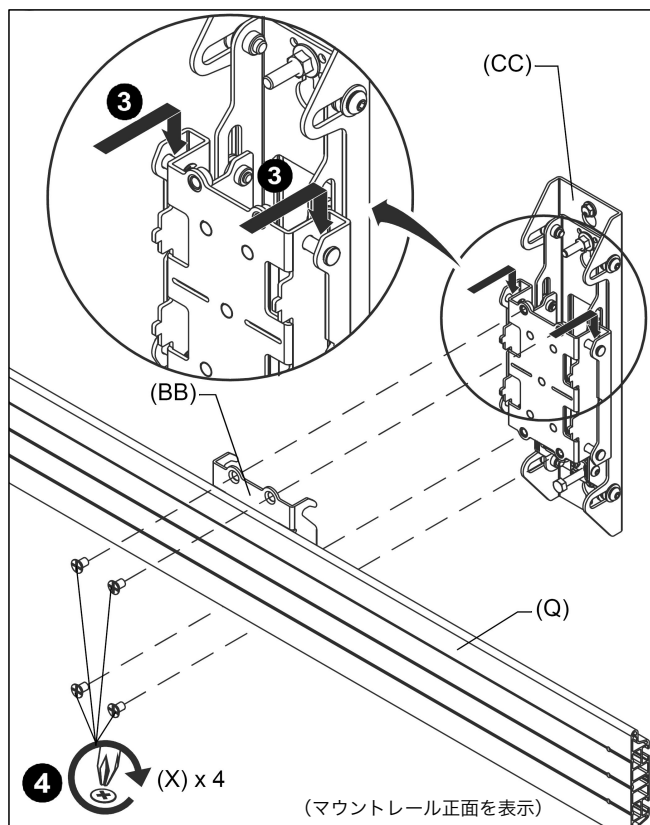
【図-9】

1. マウントレール(Q)の片方の端にエンドキャップ(S)を付属ネジ(T)2個を使って装着します。



【図-10】

2. 高さ調整プレート(BB)をマウントレールのもう片方の端から【図-10】のようにスライドさせて通し、レール上で水平に動くようにします。

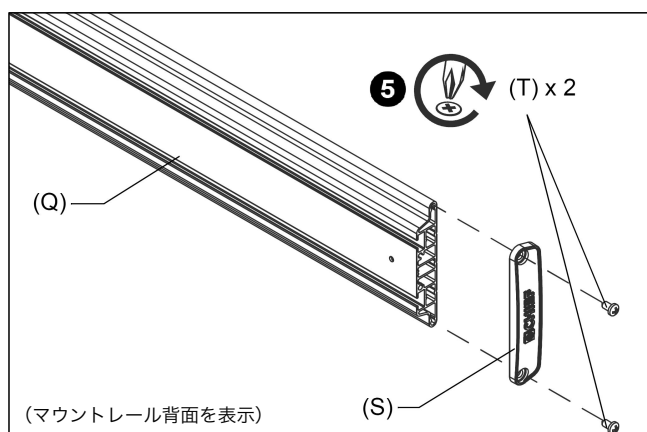


【図-11】

3. マウントレールに取付けた高さ調整プレートをマウントレール(CC)の位置に合わせ引っ掛けます。

メモ：このときマウントレールはちょうど2つのウォールプレート(CC)に対し中央にバランスが取れている状態にして下さい。

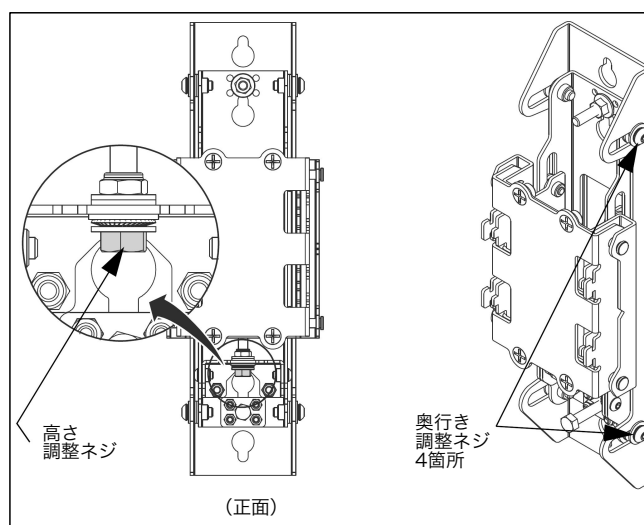
4. 付属ネジ(X)で【図-11】のようにウォールプレート(CC)、高さ調整プレート(BB)、マウントレール(Q)をしっかりと留めます。



【図-12】

5. 残りのエンドキャップ(S)をマウントレール(Q)もう一方にステップ1. と同じように付属ネジ(T)で装着します。

■マウントプレートの高さ／奥行き調整

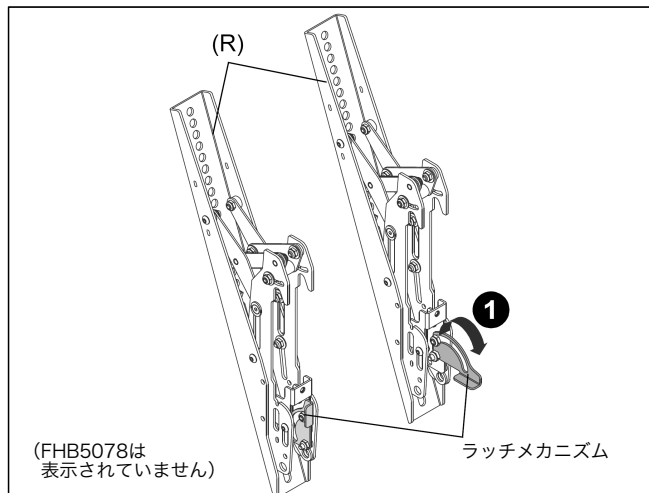


【図-13】

1. マウントプレート側での調整を行ないます。
高さ調整ボルトは時計回りで高さが上がり、反時計回りで下がります。
2. 奥行きの調整は、奥行き調整ネジ【図-13】に記した調整ネジ(4箇所)を一度緩めて、適切な奥行きにし、そこでしっかりとネジを締め直します。

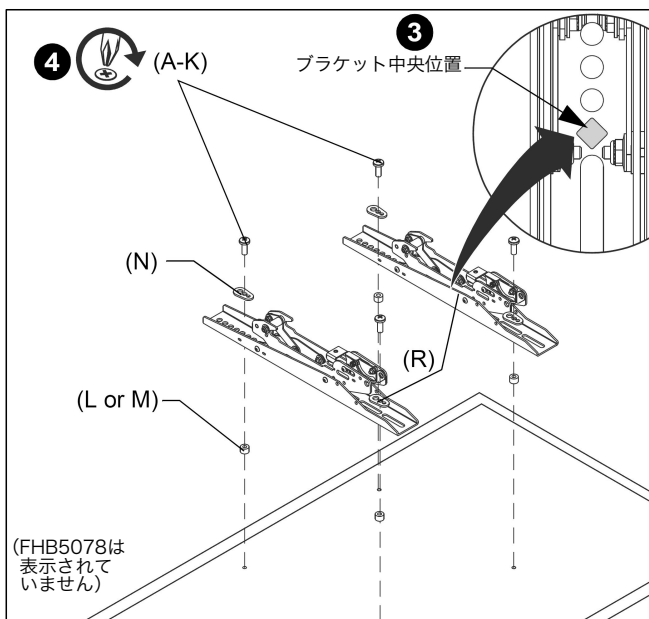
インターフェースブラケットを取り付ける

重要：もし取り付けるディスプレイの取付位置が400mmより大きければ、まず付属されているFHB5078をインターフェースブラケット部に正しく取り付けてから次のステップに進んでください。



【図-14】

1. 各インターフェースブラケット(R)のラッチメカニズムを下げておきます。



【図-15】

2. 平たくやわらかい布などを敷いた場所にディスプレイの取付面を上にして平置きします。
3. インターフェースブラケット(R)の中央位置をディスプレイ取付ピッチの中央位置と合わせます。

メモ：【図-15】のようにひし形の穴部分がブラケットの中央位置になります。

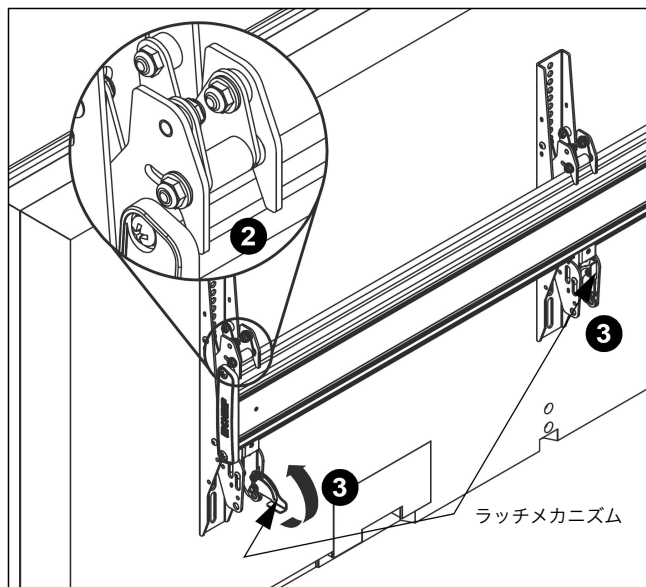
4. ディスプレイの取付ピッチの凹凸に合わせ、付属品の中から適したスペーサー、ワッシャー、ネジを使用して、インターフェースブラケットを取付けます。

警告：正しいサイズのネジを使用しないと、ディスプレイの落下の原因となり重大な事故につながる可能性があります。
!ネジとネジ受け側のサイズを確認して、必ず正しいサイズと長さのネジを使用しブラケットとディスプレイをしっかりと固定させて下さい。

- ・取付ピッチ部に凹部がある場合はワッシャーやスペーサーを使用しブラケットがディスプレイにぴったり装着できるように調節します。その場合は、より長いネジを使用して下さい。

マウントレールにディスプレイを取り付ける

1. 次のステップに進む前に必ずブラケットのラッチメカニズムが下がっていることを確認して下さい。
 【図-14】

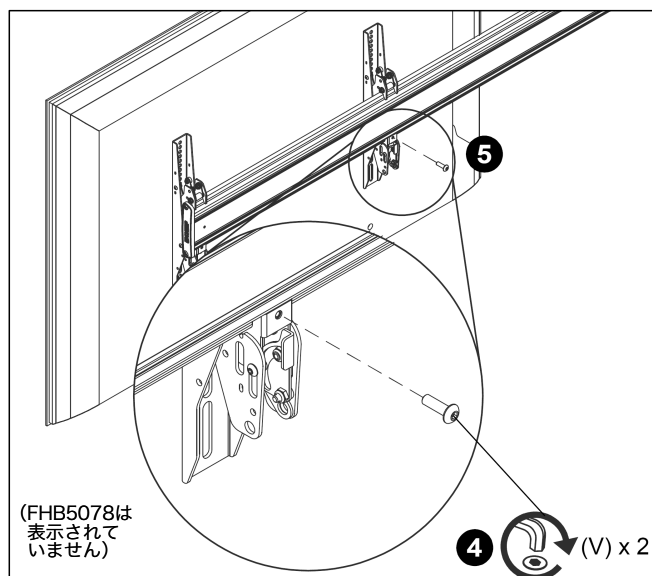


【図-16】

2. 2名以上でディスプレイの両端を抱え、マウントレールの下にディスプレイを近づけ、インターフェースブラケットをレールの上部に引っ掛けて取り付けます。
 【図-16】

メモ：必ず2名以上の適切な人数でディスプレイ設置を行なって下さい。

3. ディスプレイが適切な位置に設置できたら、下げていたインターフェースブラケットのラッチメカニズムを上へ倒し、固定します。

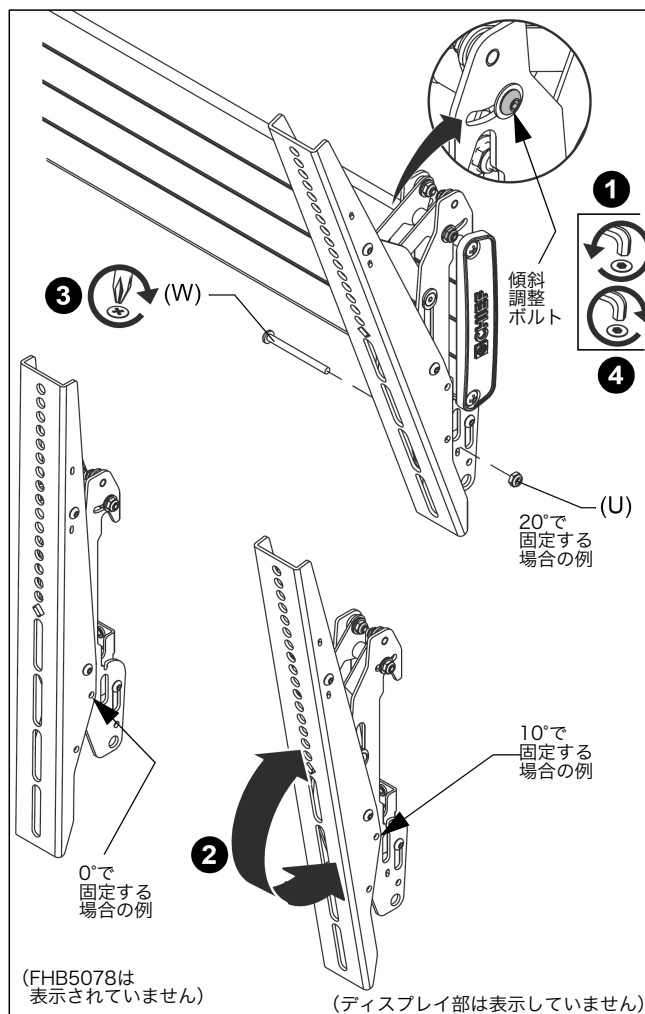


【図-17】

4. 【図-17】のようにブラケットとシーリングマウントを付属ネジ(V)で留めて固定します。
5. 残りのブラケットも同様に留めます。
6. 2名以上でディスプレイの両端を抱え、マウントレールの下にディスプレイを近づけ、インターフェースブラケットをマウントレールの上に引っ掛けて取り付けます。
7. ステップ3. ～5. を残りのディスプレイでも行ないます。

インターフェースブラケット部での調整

■傾斜角度

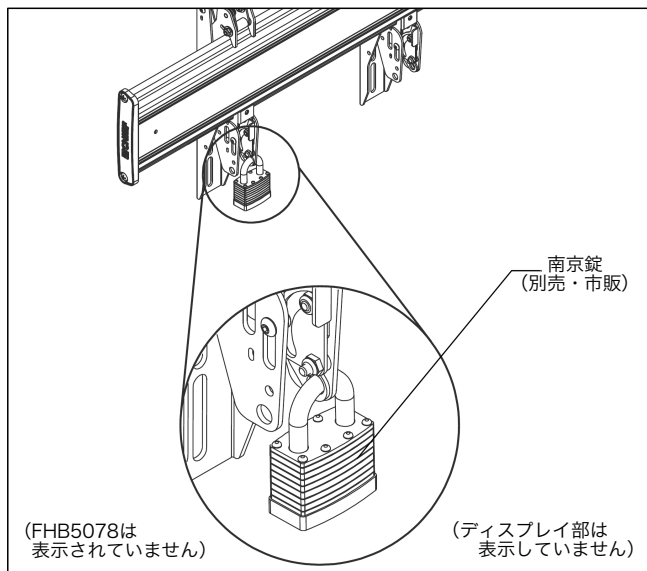


【図-18】

・インターフェースブラケット部で傾斜角度を0°～20°まで調節することが可能です。また、0°、10°、20°では、ロックすることも出来ます。

1. 必要であれば、側面にある調整用ボルトを緩めて角度を調整して下さい。
2. 傾斜させたい角度に調整します。
3. 付属ネジ(W)とロックナット(U)を使用して、0°、10°、20°でロック出来ます。【図-18】
4. 必要に応じてネジを締めて角度を固定して下さい。

■ オプション：セキュリティ機能



- ・必要に応じて、ディスプレイインターフェイス部に市販の南京錠を取り付けることも可能です。

memo

<http://www.avc.co.jp/>



■ システム販売事業部

＜首都圏＞ 〒135-0063 東京都江東区有明 3-7-18 有明セントラルタワー 8階

<關 西> 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町 3-18-25

TEL. 03-3527-8660

FAX. 03-3527-8666

TEL. 06-6836-7827

FAX, 06-6310-6144